(1) 日本国特許庁 (JP)

卯特許出願公開

◎公開特許公報(∧)

昭58-187056

5)lint. Cl.³H 04 M 3/42

識別記号

厅内整理番号 7406—5K - 公公開 昭和58年(1983)11月1日

発明の数 1 審査請求 有

(全 5 頁)

動メツセージ伝達法

@048

MA 8857-71041

②出 順 BE57(1982) 4 月26日

%登 明 者 金谷文夫

横須賀市武1丁目2356番地日本 電信電話公社横須賀電気通信研 究所内

の出 顧 人 日本電信電話公社

多代 理 人 弃理士 草野卓

400 449 48

1. 绘图の名称

メジャージ伝達在

2.转舒請求の報告

(1) 発信者からの新1のダイアへ布がを受信したとき、最初に予め配録されたメンセージをその発 場名に伝達する第1の連携を実行し、しかる報。 その発信者に第2のダイアル番号の発信を指示し、 その発信者から発信されたその第2のダイアル番 号に従って第2の受信者に通信の転送を実行し、 その発信者と第2の受信者に通信の転送を実行し、 その発信者と第2の受信者に通信の転送を実行し、 可能ならしめるメンセージ伝表法。

3. 莱羽の軽無な報例

との発明は例えば複数適像をコマーンサルメンセーン伝達のための広告媒体として利用し、コマーシャメンセージ伝達の効果を促進するメンセーン伝達の放果を促進するメンセーン伝達力法に関するものである。

<従来技術>

数額通信を広告数体として利用し、コマーシャ ルメンセージを伝過する方法として、仮案例えば 時報案内、天気予報、ニュース、航空機時期案内などのテレホンサービスのように予めコマーシャルメンセージを配録した鉄管再生装置を電話機と 並列に接続し、発信者がその電影機の番号をタイ アルするとその録音再生装置が自動的に再生を開 始し、発信者に向けてコマーシャルメンセージを 伝達する方法があつた。

しかしたの方法では、メクセージ伝送効果は寒 ちコマーシャルメンセージの内容によつてだ右され、電粉過度の本来の効用である双方向適包を提 供し得ることのメリットを有効に利用できないため、広告媒体として充分な効力を発揮できないな 点があつた。

く発料の概要>

との範囲は従来のメンセージ伝達方法が有する とのような欠点を解決し、電転通信をコマージャ ルメツセージの有効な伝統手段として利用する方 法を提供するものである。

との発明によれば、本来目的とする電話による 激化の開始に失立つてコマーシャルメンセージを 伝達し、しかる誰に消害の難解治療を可能ならしめるようだする。つまり、発售者に無1のタイアル語をグイアルさせ、その第1のタイアルにもとずく無信仰で、予め配録されたメンセーン。何えばコマーンヤルメンセーンを初配発信者へ伝達して第1の通信を無行し、その後、動配発信者に無2のダイアル著号の発信を指示させる。発信者がこれに従つて第2のタイアル著号を指信を応信を表すると、初記代信者との第2の単信者との関する。必ゃに応じて前配予め配録されたメンセーンを発信者に伝える見返りとしてこれら通信に係る料金の一部ましくは軽でをコマーンマルメンセージ提供の主体者に経金せしめる。

<第1 楽然例>

この発明の幹線について観明する前に、このメ フセージ伝療法の機動動作を観明する。

第 1 回往 數据 機 の 付 興 數 量 全 別 い て 更 施 す る 約 全 示 す 。 1 、 2 及 び 3 は 電 筋 機 、 4 は 付 職 装 製 。

能を用いて電影機1を電影機2に転送する。これ により電影機1の発信者は本来の目的である電影 機2との適信を行なりことが可能ときる。

て > で予め電影機 3 と交換機 5 との例で、電粉機 1 と電影機 3 間の通信及び電影機 3 と電影機 3 間の通信に係る料金の一部もしくは解て金電影機 3 の総金となすように築約してあれば、電影機 1 の発信者は本来の目的である電影機 2 との通信の器 2 に立て電影機 3 からのコマーシャルノンマージを観くことの関係として本来自己に課金さるべき電影機 2 との関の通信に係る料金負担を観測できるメリントがあり、遊れコマーシャルメンセージ提供の主体者は、電影機 1 と 2 の通信に条る本来は電影機 1 に課金さるべき料金の一部もしくは概てを担保としてコマーシャルメンセージ伝 2 の効果を保金することができるメリントがある。

第2回は、交換機のトランク装置を用いて実施する例を示す。1及び2は電影機、5は交換機、 8はたの発明の方法を実現するため交換機 5 に接

5 は交換機である。電影機3及び付觸装備4 はっ マーシャグメフセージを提供せんとする主体者の 笔内に鍛冶されるものである。いま観點機1の祭 個者は本来電影機2と減保したいものとする。と のとき発復者は難転機1を用いてまず難筋機3の ※号をグイブルすると、交換機をほとの番号をも とに難給機1を整路機3の付觸装置4に振練し、 との間で透信が可能となる。この状態で付数装置 4は予め録音されているコマーシャルメクセージ 全 戦 筋機 1 作向けて伝達して第1 の漁售を銀行す る。この無工の液像が終了した時点で付減蒸業者 紅絲像者化電影機2の番号をダイアルするように 例えば霰声僧号によつて指示する。との指示に質 つて発揮者が微點機1を用いて微點機2の祭母を ダイアルすると、付觸装置もはこの番号を検出し、 次いで自己の有する自動ダイブル機能により交換 機多を超難し、概動機2の寄号を交換機5に位え。 交換機をはたの数分をもとに付職数数4と数据機 2を影響する。付職機関4ほこの機能が発了した ことを飲出すると判時に自己の有する転送機械機

概されるトランク数機である。コマーシャルメッ 七一ジ提供の主体者は予めトランク数数もの利用 について交換機器と契約し、コマーシャルメッセ ージをトランタ経験も内に転回して表るものとす る。いま電影機1の発信者は本来電影機2との船 で適信したいものとする。まず発信者は電影機1 を用いてトランク鉄盤6を指定するその定められ た務勢をダイアルする。交換機器の動きで艱緊機 1はトランク装置も状態終される。との状態でト ランク鉄機もは、予め配機されているコマーシャ ルメツセージを発信者の**電話機**1に向けて設力し、 それが終了した時点で難動機」に対し、例えば音 声信号により撮影機2の毎号をタイプルするよう に指示する。この推示を受けて発信者が難断機1 より電影機2の影響をダイアルすると、交換機5 にこの番号に従って電影機1と電影機2を接続す & .»

これだより電路機1は本来目的とする電影機2 との通信が可能となる。ことで予めメフセージ機 供の主体器と交換機5額でトランク数量6を使用 する過機化係る料金の一部もしくは総てをメッセージ提供主体者の総金となすように契約してあれば、 電転機 I の発信者は本来目的とする通信に免 立つてコマージャルメッセージを聴くことの対価 として本来の自己の目的である電転機 3 との傾の通信に係る料金負担を職級できるメリットがあると同時に、コマージャルメッセージ提供主体者からかれば、電磁機 I と電転機 2 間の通信の本来は電転機 1 に競会さるべき料金の一部もしくは総てを相似として、コマージャルメッセージ伝達の効果を保全できるメリットがあることは第 1 別の実施例の場合と同様である。

和述において料金の一部又は全部をコマーシャルノンセージ提供主体者に負担させるには、交換方式においては来及く知られている野鯛課金方式を用いれば、各発像ごとに無信者及び過點変数く料金)がわかるから、その明細よりコマーシャルノンセージ提供主体者への発信、影 3 のダイアル発信にもとずく料金の一部又は全形はコマーシャルノンセージ提供主体者に譲来するようにすると

はこの指令を受けると、すでに接続されている加入者解41を介して交換機多に向けて応答信号を送し、次いで回線数定完了を確認した後、予め能無されているメンセージを加入者解41上に送出する。メンセージ送出が終了すると例をは「これから沸點相手の等号をダイアルして下さい」というダイアル指示用資率信号を加入者線41上に送出するとともに制御回路44に対しメンセージ送出終了を通知する。制御回路44に対しメンセージ送出終了漁知を受けとると、信号検出回路43に対し、加入者線41上に交換機をより送られてくるダイアル署号信号の検出を行うよう指示する。信号検出回路43に交換機をより送られてくるダイアル署号信号の検出を行うよう指示する。信号検出回路43に公指示に従ってダイアル署号信号の検出を行い、この情報を制御回路44に満知する。

制御回路 4 4 はグイアル 番号情報を指号検出回 路 4 3 より受け取ると、重ちにこれを自動ダイヤ ル回路 4 7 に伝達すると同時に接続回路 4 5 を削 巡して自動ダイアル回路 4 7 を加入者線 4 2 に接 続する。この接続が発了すると自動ダイアル回路 とができる。また現在にかいて着傷転送方式では 転送後の料金は第1の損傷者に翻求するようにな つてかり、従つて前記載品級2に対する漁筋料金 はすべてコマーシャルメフセージ提供主体者に負 担させることは容易に行なりことができる。 <付機模数>

無3 影は無1 気中の付養機機4の具体例を示す。
41 及び4 2 に交換機5 と接続されている加入者

※、43 は信号検出回路、4 4 は制難回路、4 5 は接続函数、4 6 は自動応答回路、4 7 は自動メイヤル回路である。まず税切に加入者線4 1 及び
4 2 は初期状態としてオファック(切断)状態に

※定されているとする。この状態で信号検出回路

4 3 が加入者線4 1 に到達した変機機5 からの呼

出し信号を検出すると、信号検出回路4 3 は加入

着線4 1 が呼出されていることを制御回路4 4 に

差知する。制御回路4 4 はこの通知を受信すると

※続回路4 5 を制御して加入者線4 1 を自動応答

旧路4 6 に接続すると同時に自動応答回路4 6 に

到しメンセージ送出を指令する。自動応答回路46

47位、加入者额42を介して交換機当に対し発 野僧母を送出し、聖典機ちよりの応答を確認の後 影響照路《《上与受け旅つたタイプル需要情報》 もとにグイブル個号を作取し、これを加入省額42 上に送出し、交換機をからの応答確認に備える。 农口で交換機5より加入者搬42を介して送られ てくる応答信号を確認すると渡られたのととを勉 数回路44に表知する。約例回路44はこの通知 を受け取ると接続回路45を制御して加入者解41 と42を凝簌し、加入容解41の供券を加入書級 42亿概选するとともに信号検出回路43亿对し。 加入書鞭41及び42上での終結復号の検出を指 会才差。この指令に従つて個等機出回路43日数 筋信号の終出を開始し、いずれかの加入者的上に 終點很易を検出すると、とのととを制御問訴する に通知する。制御国路48はこの通知を受け取る と直ちに繋続回離45を制御して、加入者郷41 と42の最終を解除すると同時に、胸加入者癖を 初期状態に獲出する。

くトランク級銀ン

※ 4 別付票 2 四中のトランク数据 6 の一乗 務例 を示す。61ほトランク鉄機目と交換機名の飛船 路袋魔を姿貌するトランク額、82粒トランク数 鐵名と交換機多の影響軟體を接続する影響值學脈 63.以旅航图路、64.以制制图案、65.以宣》的 答回歉、86はダイアル信号検出回路である。い ま制御信号機62を介して電影機1がトランク袋 翼6に装練を要求していることが動御服務をもに 通知されると、動物回路を4日無限回路を3分配 然して、トランク線61を自動応答問路65に接 親すると同時に自動応答問題 8 5 に対してメンセ 一夕送出を指示する。自動応答器納で5は制輸出 終日本よりの推示を受け取ると、予め配録されて いるメンセージをトランク無61上へ送出する。 メンセージ送出が終了すると自動応答回転 8 5 は 引鞭き例をは「これから適齢相子の番号をタイア **ルして下さい」というダイアル指示用音声描号を** トランク機の3上状態出した後、メツモーシ終了 を制御回路 6 4 に流知する。

制御団難りもはこの通知を受け取ると、振興団

一ジを職くととの判断として本来ならは自己に 会さるべき通信科金の負担を軽減でき、また逆に メンキージ提供の主体者にとつては、従来のとの 複の方法では挙にメンセージ内容が難取者に対し て与える効用のみにメンセージ伝達の効果を期待 していたのに対し、これに加えてとの方法によれ は本来別信者に経せらるべき双方向通信に係る料 会を負担するととを担保としてメンセージ伝達効 果を保金し待ることが可能となる。つまり返来の 製計を広告課体とする一方向通信のみのメンセー ジ伝達方法では持られない高度なメッセージ伝達 効果を得るととが可能となる。

なおこの探明の方法は必ずしも概能適信にのみ 適用が限定されるものではなく、ファクシミリ連 像、データ通信等適常の概能交換機を経由する適 値であればすべての通信に適用できるものである ことは明らかである。

4. 图图 Ø 图 學 文 服 明

第1回は電影機と接続された付換装置を用いて この発明の方法を実現する場合の動作の数略を説

第3回及び無4回に示した例はいずれる従来良く知られた回路技術により容易に実現できるものである。

く物 ※>

以上の観明で明らかなように、この発明の方法 によれば、発養者にとつては、本来目的とする双 方向通信に完立つて一定時間コマーシャルメンモ

制するためのブロック間、第3回は交換機のトランク蒸業を用いてこの発明の方法を実現する場合の動作の概略を提明するためのフロック間、約3 総は約1回における付摘表像の一次条例を示すプロック的、第4回は第2回におけるトラック装置の一架路例を示すブロック的である。

1,2,3:戰約後、4:付無裝置。5:交換 機、6:1,5>之與機、41,42:加入增級。 43:11時檢出回路、44:約約回路、45: 撥級四路、46:自約応答回路、47:自愈之 17本回路、51:1,5>之之級。62:約例個 營廠、53:粉稅回路、84:約例的所、65 :自動応答回路、66:277次個份檢出回路。

海路出版人 日本報告數結会社

代 郑 人 单 勤 《







